

左京ボイス

市民しんぶん左京区版 1/15

左京区役所ホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/sakyo/>

「左京区に住んでいて良かった。
これからも住み続けたい」と
実感できるまちづくり

新年おめでとうございます。区民の皆様におかれましては、新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、ふれあいまつりをはじめとする区民ふれあい事業や新左京区総合庁舎の基本設計ワークショップ等、多数の事業に区民の皆様の御参加、御協力を賜り、大きな成果を挙げることができました。厚く御礼申し上げます。

左京区は、美しい自然や長い歴史に培われた伝統文化を有するとともに、大学や文化施設の集まる「歴史・文化・学問のまち」であり、こうした左京区ならではの魅力を生かしながらすばらしい発展を遂げてきました。

平成20年の新たな年を迎え、左京区の一層の発展に向け、お子さんから老年寄りの方までのすべての区民の皆様がいきいきと暮らせるまちづくりの推進に全力を尽くす所存でございます。

また、昨年4月から、区役所の一部業務について、毎月第1・3木曜日に午後7時まで取扱時間を延長する等、区民サービスの向上に努めているところ

ろです。本年も、区民の皆様から信頼され、親しみやすく利用しやすい区役所を目指して、職員が一丸となって取り組んで参ります。

「左京区に住んでいて良かった。これからも住み続けたい」と実感できる安心・安全のまちづくりを、区民の皆様とのパートナーシップのもとに進め参りますので、皆様の一層の御支援、御協力をよろしくお願ひ申し上げます。年頭にあたり、区民の皆様の御健勝と御多幸を心より祈念し、新年の御挨拶とさせていただきます。



左京区長
波部 美利

本年は、京都市長様に干支「子」の一文字を扇面に墨書きしていただきました。皆様にとってこの一年が扇面のごとく末広がりのめでたき年でありますようにお祈りいたします。

作品は青竹筒に、ランの女王と呼ばれるカトレヤ、黄金色のオンシジュー、若緑の玉だを添え、新春の華やぎを演出しました。扇子にからませた金の遊ワイヤーは春の光。そんな遊び心が楽しいお正月花です。

未生流 篠岡家元
ささおか 篠岡
くんぽ 熊甫

歴史・文化・学問のまち左京区



▲初マツタケが確認された
里山の作業に向かう

▶落ち葉等を取り除く作業



伊東和子さん（吉田）の作品



昼食の準備が進む
(手前が吉村さん)

みんなの緑101選

「区民の誇りの木」紹介

八瀬天満宮のスギ(八瀬)



このスギは平安時代に建立された八瀬天満宮の御神木で、2本の幹は根元で合わさり幹周りは約6m、高さは30mもあります。時を超えて、静かに境内を見守り続けています。

八瀬天満宮の境内にある秋元神社では、毎年秋に女装した少年が透かし彫りの切子灯籠を頭に載せ、音頭取りの太鼓に合わせて櫓の周りをゆっくりと進み、舞台では小学校5・6年生の少女が踊りを奉納する「八瀬赦免地踊り」が行われます。

第1・第3木曜は一部業務を午後7時まで延長しています

問合せ 区役所総務課 (☎771-4234)
区役所市民窓口課 (☎771-4250)
区役所保険年金課 (☎771-4272)
区役所福祉介護課 (☎771-4265: 子ども医療、児童手当)
(☎771-4266: 介護保険)

1月17日
2月7日
2月21日
延長日

防災とボランティアの日	1月17日(木)
文化財防火運動	1月26日(土)
防災とボランティア週間	1月23日(水)～29日(火)
文化財防火デー	1月15日(火)～21日(月)

- 問合せ 左京消防署 (☎723-0119)
- あります。
家のまわりの安全対策
- ①ブロック塀・門柱の基礎はしっかりしているか、傾きやひび割れ等はないか確認しておきましょう。
 - ②固定器具を使用し、家具等の転倒や落下を防ぎましょう。特に、本棚、食器棚等は中身が飛び出したりするおそれがある部屋には家具を置かないようにしましょう。
 - ③ベランダには植木鉢等を置いたり、本棚、食器棚等は中身が飛び出したりするおそれがあるためには、日頃の備えが大切です。地震が起きたときにどう行動するか、日頃から家族で話し合い、緊急時の連絡方法や避難場所等を確認しておきましょう。また、お住まいの地域で開催される防災訓練等に積極的に参加し、地域の防災体制を確認しておきましょう。



- あります。
ス、額縁、壁掛け時計等はガラスが飛散したり、落下したりするおそれがあります。
③ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。

マツタケの採れる里山づくり

まつたけ十字軍

まつたけ十字軍は、里山の荒廃に伴い採れなくなってしまったマツタケの復活を目指して、長年にわたりマツタケ研究に取り組んだ生態学者の吉村文彦さんが発起人となり、平成17年6月に設立されました。活動を始めて3年目となる昨年10月、待望のマツタケが確認され、大いに活気づく岩倉村松の活動拠点を訪ね、代表の吉村さんにお話を伺いました。

「私たちが、活動している岩倉のアカマツ林でも数十年前までは、都マツタケと呼ばれるほどたくさん採っていました。ところが、石油やガスが普及して薪や炭を燃料に使わなくなったりことや、林業の後

継者が少なくなったことで山が荒廃し、今ではほとんど採れなくなっています。意外かもしれませんが、人が手が入らない山にはマツタケは生えないんです。開いた斧があたらない程度に木と木の間が空いていて、地面には落ち葉が堆積してできた柔らかい腐葉土がない状態が理想的です。マツタケの再生というと稚草等の人工栽培をイメージする人がいますが、私たちがしているのは、マツタケが採れた當時の里山の状態を取り戻すことで、マツタケが自然に出てくるのを待つというものですね。週に1回のペースで集まっている学生等の若い人もいますが、



代表：
吉村文彦さん

皆さんはそれぞれの持ち場に戻っていました。マツタケを再生させたいという思いを共有し、みんなが汗を流し、食事を共にする。村落共同体の原点に触れた気がしました。

「足の踏み場もないぐらいマツタケでいっぱいの里山にならることを夢見ていましたが、この活動を通じて自然と共生することの大切さを伝えたいです」と吉村さん。

マツタケがたくさん採れる日を楽しみにしつつ、環境問題についても考えてみたいものです。

マツタケがたくさん採れることが、被災を最小限にとどめるためには、日頃の備えが大切です。地震が起きたときにどう行動するか、日頃から家族で話し合い、緊急時の連絡方法や避難場所等を確認しておきましょう。また、お住まいの地域で開催される防災訓練等に積極的に参加し、地域の防災体制を確認しておきましょう。

地震は時間と場所を選びません。被害を最小限にとどめるためには、日頃の備えが大切です。地震が起きたときにどう行動するか、日頃から家族で話し合い、緊急時の連絡方法や避難場所等を確認しておきましょう。また、お住まいの地域で開催される防災訓練等に積極的に参加し、地域の防災体制を確認しておきましょう。

地震は時間と場所を選びません。被害を最小限にとどめるためには、日頃の備えが大切です。地震が起きたときにどう行動するか、日頃から家族で話し合い、緊急時の連絡方法や避難場所等を確認しておきましょう。また、お住まいの地域で開催される防災訓練等に積極的に参加し、地域の防災体制を確認しておきましょう。

地震に備えましょう



- あります。
家のまわりの安全対策
- ①ブロック塀・門柱の基礎はしっかりしているか、傾きやひび割れ等はないか確認しておきましょう。
 - ②ベランダには植木鉢等を置いたり、本棚、食器棚等は中身が飛び出したりするおそれがあるためには、日頃の備えが大切です。地震が起きたときにどう行動するか、日頃から家族で話し合い、緊急時の連絡方法や避難場所等を確認しておきましょう。また、お住まいの地域で開催される防災訓練等に積極的に参加し、地域の防災体制を確認しておきましょう。
 - ③ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。